

鋼管管端寸法計

レーザー距離計を旋回させて管端寸法を測定する装置です。

特徴

- 2台の測定台車により、鋼管の両管端部の寸法を同時に測定します。
- 対向する2台のレーザー距離計の挟み込みにより外径及び管厚を測定する方式を採用することで、測定機構の振動影響を受けることなく、安定して測定が可能です。
- センタリング用レーザー距離計により回転機構中心軸を管中心に芯合わせ後、寸法測定用距離計配置測定アームを回転させることで、高精度な径及び管厚測定を実現しています。

対象材料

- 鋼管 外径：Φ300～700mm、管厚：4.5～25.4mm
(上記は納入実績によるもので、ご相談に応じます)

装置仕様

- 測定項目 外径、内径、管厚の全周分布（平均値、最大値、最小値、管周方向所定角度における各寸法値算出）
- 測定精度 (2σ) 外径、内径：±0.2mm、管厚：±0.03mm
- 装置構成 図1参照(片端部についてのみ図示)

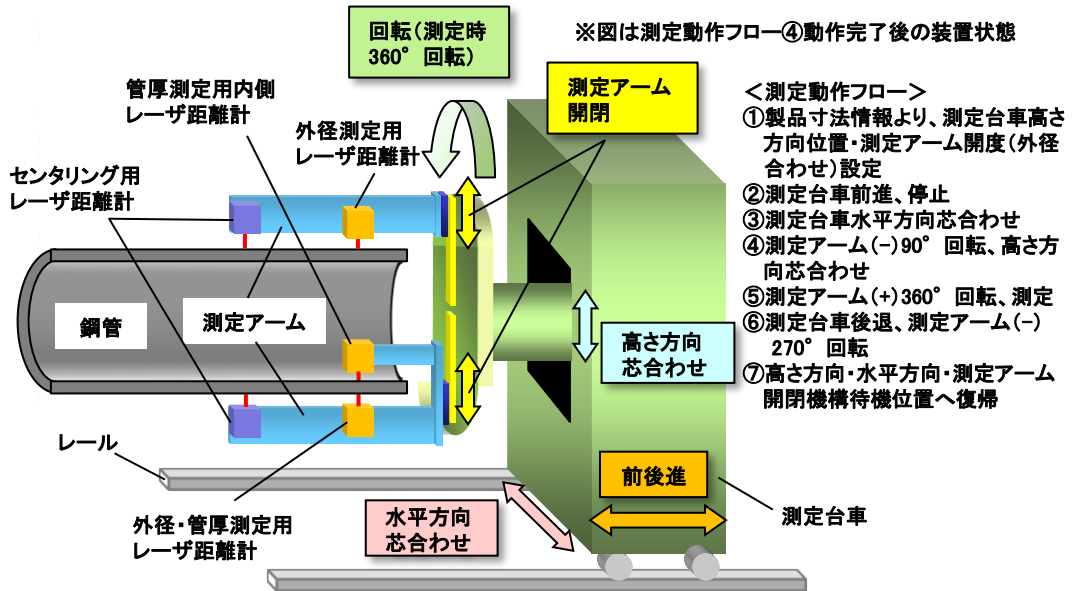


図1 装置構成

装置適用例

図2は、中径電縫管工場への管端寸法計適用例です。

管厚分布から特定される溶接部位置を基準に、管周方向へ0.1°ピッチで外径・内径・管厚の全周分布を測定、各寸法値のMax・Min・角度、並びに平均値を算出します。

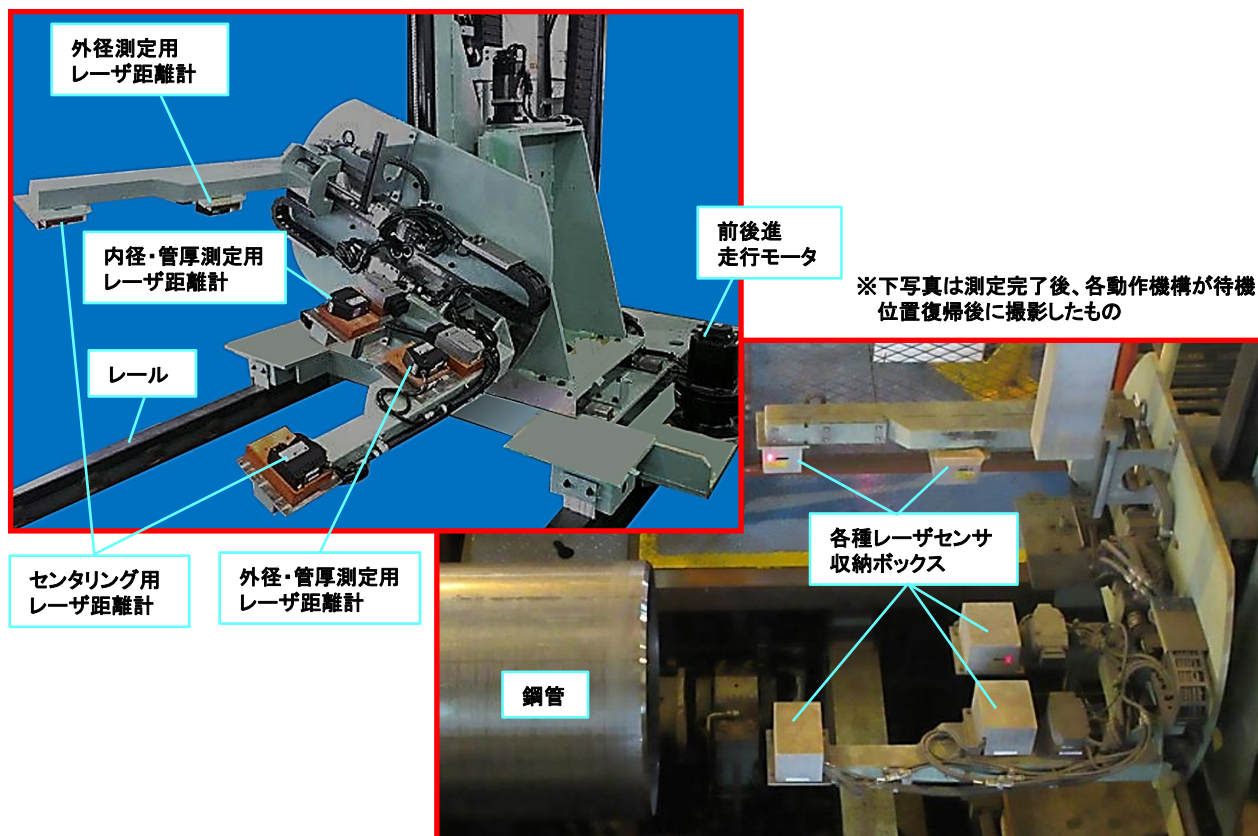


図2 中径電縫鋼管への適用例

その他

センサー一覧に戻る

是非ご相談ください。

<https://www.jfe-planteng.co.jp/>

最寄りの営業所・支店はHPをご覧ください。